



平成23年7月吉日

(財) 新生田上靈園 理事長 種子島 登

文章の読み書き・人との付き合い

ある冊子に広告を御願いするようになってから中に書かれているエッセイその他いろんな文章を読んでいるうちに自分でも何か書いてみたいと考えました。もともとこの靈園便りに挨拶文を書くようになったのが発端で文章を書く事そのものについては苦痛を感じておりませんでした。

ただ一般の方々に購読されている冊子に文章を書くと言う事に関しては意味合いが違いますしズブの素人ですのでいったい何を書いたらいいのか解りません。書いてみたいと考えたらとにかく何でもいから書いてみれば良いのであってあとは掲載してくれるかどうかは先方次第でボツならボツで仕方が無いと開き直って投稿してみる事にしました。結局、デビュー作は「靈園の運営で思うこと」と言うタイトルで出稿しました。これは 以前、靈園便りに書いた文章を加筆修正して付け焼刃的に出稿したものでした。

恥ずかしいとか下手なのに・・・と考えれば何も出来ません。

「下手だから練習すればいいではないか」と腹をくくった状態でした。

幸いなことに発刊された次号に私の書いた文章が掲載されておりました。なんとなく「自分の書いた文章を人が読む」といった出来事そのもので自分の存在の確認が出来たように感じました。人は自分の存在を認めて欲しいためにいろんな動きをします。今では義務感がはたらき毎号欠かさず出稿するようになっております。

これも読まれる方々には申し訳ない話ですが、思考力の維持と惰性と文章を書く能力を少しでも高められればといった気持ちがあつてのことです。マンネリ化した文章になっていないか、自己中心的な文章になっていないか？読む人が面白いと思うか、あるいは少しでも為になるような気の効いた文章になっているかどうか？というようなことを考えて書こうと思っておりますが、結局はそんなものとは程遠い文章しか投稿できておりません。

文章を書くようになってから本を読む姿勢が少し変わったと思います。特に読書が好きの方でもありませんでしたがそれまでよりもっと沢山の本を読むようになったと思います。そして自分が生きるうえで為になると思うような本に出会ったときには宝物を得たような気持ちになります。その本から学び、感動し、得るものがあれば自分の成長につながります。一般的道理として自分より優れたものを持っている人と接し見習う事により自分自身が磨かれますし会社でも自分の会社より優れた会社を対象に秀でている点を取り入れていければ決して倒産する事はないだろうと考えます。

ごく最近ですが「ポケット般若心経」と言う本に巡り会う事が出来ました。たいていの人が般若心経は知っているはずですが書かれている中身(意味)はあまり知らないのではないかと思います。

私自身すでに60歳を過ぎて「老・病・死」を考えなければならぬ年代に突入しておりますのでその時になってジタバタしない為にいわゆる将来に備えて終着点の「死」と向き合う準備に早くから取り組もうと考え購入しました。父は87歳で亡くなりましたが家はもともと神道であるにもかかわらず80歳を過ぎた頃から毎日この般若心経を写経していたと思います。私がある頃心配するような事をしてかしたときに「明日は自分がこの世に生きているだろうかと思ひながら薄氷を踏む思いで毎日を過ごしているのだから心配させないで欲しい」と言われた事があります。仏教徒でも無い父はその頃「最澄」や「空海」とか人間の生の根本に関わることが書かれているような類の本をよく読んでおりました。所謂「死そのもの」を受け入れる準備をしていたのではないかと思います。そのような父が病気になる死ぬまで私達夫婦と姉の3人で協力して自宅看護しておりましたので老・病・死について十分に勉強させられたように思います。

ですから父が準備した時期よりはかなり早いかもしれませんが人生一寸先は闇ですし一足先にその境地になればいいのではないだろうかと考えました。この般若心経の解説書を購入してから出来るだけ時間を作って朝の目覚め時と夜寝る前に声を出して意味を理解しようとしながら数回ずつ読経しております。まだ習慣付けしようと考えてからそんなに時が経過しておりませんのでその効果は不明です。

十分に意味を理解した上でひたすらこれを写経し読経して修め自分のものにすればいろんな物事を冷静に判断し見極め見透かす力が身につくとあります。何でもそうですが先ずは信じる事が大事でありその上で一心不乱に念じ業を行えば他より秀でる事は確かでありかなわぬ事は何もないように思えます。文章を書く意味に関していえばそのような自分自身の感覚なり知覚に関わる信念や信条を文章で表現し手応えを確認する為の手段になるような気がします。

私自身そのような観点でこの先も良書に巡り会い書かれている内容に啓発されながら何かしら自分の経験で得た感激や感性、思った事、考えた事なりを文章にして表現する作業は続けていきたいと考えておりますし併せて自己啓発につながるような友人達と共に成長しながら生きていければ良いと考える次第です。



お盆・お彼岸の前に、納骨壇のリフォームはいかがですか？

8月31日まで

納骨壇リフォーム 特別キャンペーン開催！

納骨壇内外を美しく再生！

長年お使いになった、ヤニ、ススも綺麗に落ちます！
納骨壇の汚れが気になる！綺麗にしたい！とお考えの皆様！

申込み受付中！

納骨壇の模様をお好きな5タイプの中からお選び頂けます。

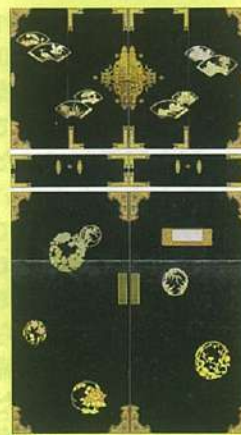
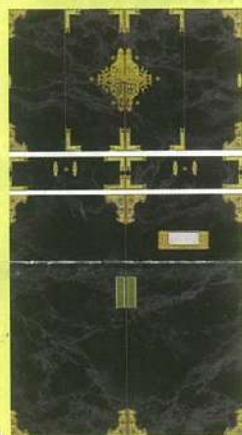
大理石黒

大理石白

萩(はぎ)

蓮(はす)

高級漆調



塗装のみ！補修のみ！洗浄クリーニングのみ！
お気軽にご相談下さい！

特別キャンペーン価格

8月31日まで

価格表	40cm区画	80cm区画
大理石黒	¥60,000	¥80,000
大理石白		
萩(はぎ)		
蓮(はす)	¥180,000	¥280,000
高級漆調		

* 工期は通常2週間～3週間程度となります。

* 詳しくは(財)新生田上霊園管理事務所までお尋ね下さい。

霊園改修工事のお知らせです。

現在8月下旬の完成をめどに、改修工事を行っております。
美しく生まれ変わる霊園をご紹介します。

1. 水子地蔵尊が新しくなりました。



・新規供養受付中・

水子地蔵：1体 5万円
管理料：年間 2千円

お台が老朽化して不自由をおかけしておりました。6月1日より始めました改修工事
も終盤を迎え、7月10日の完成を目指して水子様の引越しをいたしております。
また、竣工に際し下記の通り水子供養祭を執り行いますので、是非ご参列ください。



水子供養祭 日時：7月24日 13:30 より

※ご契約状況の確認・工事内容説明がまだお済みで無い方は、
管理事務所までお申し出ください。

2. 駐車場が増えました。

お盆・お彼岸・暮れや正月など、お車でご参拝の
皆様になにかとご不便をおかけしておりましたが、
霊園本館裏手に新たに34台分の駐車場を増設し
よりスムーズな御来園が可能になりました。



3. 屋外納骨壇が完成いたします。



(※写真はイメージです)

屋外納骨壇から見える錦江湾・桜島は絶景です。

新規
販売

先着

81基 限定販売

一基

120万円

■ サイズ：74(幅)×163(高)cm
■ 納骨数：12(標準的な骨壺)
■ 宗派：一切問いません
■ 管理料：年間1万円

*見学・申込み等の詳細は管理事務所までお尋ね下さい。

フリー
ダイヤル

0120-25-3480

平成23年度 管理料納入のお願い

(財) 新生田上霊園 管理事務所

使用権者の皆様に、平成23年度分 (H23.8.1~H24 .7.31) の管理料納入をお願い申し上げます。(振込みに際しては、同封の振込用紙を御使用願います。)

管理料の納入に際して毎年、皆様のご理解をいただき大変感謝いたします。今後も、皆様に安心してお参りいただける霊園の健全な維持・管理に努めてまいります。

※お知らせ※

現在当霊園では、将来の年間管理料の納入方法において、現行における「お振込み」「ご持参」払いから、「預金口座振り替え」払い方法に平成24年度分より変更いたしたく、現在準備を進めております。

尚、詳細につきましては本年度中に手続きに関するご案内を送付いたします。

何卒使用権者の皆様のご理解とご協力を頂きますよう、切にお願い申し上げます。

平成23年度 夏秋行事予定

7月

■7/24(日)13:30~水子供養祭《水子行事》

8月

■8/12(金)10:00~盂蘭盆法要《仏教行事》 ■講演会

9月

■9/23(金)10:00~秋のお彼岸法要《仏教行事》

10月

■10/24(月)11:00~慰霊祭《神道行事》 ■秋の収穫祭 ■貸出菜園切替

無料相談 見学会 随時受付中!!

お気軽にお問合せください!

☎0120-25-3480

年中無休 開園 AM8:00~PM6:00 (お彼岸・お盆・お正月は早朝開園致します)



毎日運行中

参拝ご見学に便利な**無料送迎バス!**

URL <http://www.tagamireien.or.jp>

新生田上霊園

検索

鹿児島県知事認可 指令生衛第330号

財団法人 **新生田上霊園**

〒890-0036 鹿児島市田上台1丁目21-1 TEL 099-253-4122 FAX 099-286-1176